浜松南高新聞

発行所
県立浜松南高校新聞部
静岡県浜松市米津町
TEL(053)441-1486㈹
FAX(053)442-0148

印刷
富士システムリンク株式会社

内容紹介

○南高校の設備改善について……二面
○個性豊かな部活紹介……三面
○スマトラ沖地震！……四面

一年を振り返って

体育大会

応援合戦が始まり団結力アップ☆
どのカラーも団結して頑張りました。

入学式

たくさんのかわいらしい新一年生が入学してきました。
これから新たな三年間が始まります。

波濤祭

クラスのみんなで協力して大成功!!
他校の人もたくさん来てくれて盛り上がりました。

球技大会

球技大会ではみんな白熱した試合をしていました。ほとんどの人が球技に全力を尽くし、自分のクラスの応援を一生懸命することができました。

卒業式

ついに慣れ親しんだ南高とのお別れ。

遠州灘

”一月十七日“十年前のこの日に起こった出来事を、みなさん覚えていますか？

▼十年前のこの日、最大震度七の激しい揺れが日本を襲いました。関連死を含め、六千四百人余の犠牲者を出したこの惨事は、後に、「阪神・淡路大震災」と呼ばれることとなりました。

▼大震災から十年たった今、その教訓を生かす努力が日本各地で求められています。地震などの天災は大自然の営みだから完全に防ぐことは無理だと思います。しかし災害への備えを学び減災につなぐことはできるはずなのです。

▼私たちが暮らすこの東海地区に起こると予想されている「東海地震」は、阪神大震災をはるかに越える被害が予想されています。いつ起きてもおかしくないと言われるこの地震への備えを、この機会に見直してみてはどうでしょうか？

▼地震への備えといっても私たち高校生にできることは、限られてくるかもしれません。具体的には非常食やラジオ、靴などの用意をすることぐらいしか私にも思い浮かびません。しかし、実際地震が起こった場合、私たち高校生のような若い人たちの力が、かなり必要となるでしょう。

▼「もし地震が起こった時、私たちにできることは…？」起きてから考えては遅すぎるこの問題を、一人一人がしっかり考えていかなければならないのです。（キキ）

スマトラ沖地震！

最近テレビでいろいろな国で自然災害が起きているというニュースが流れる。日本では、つい先日一月十七日で阪神・淡路大震災発生からまる十年たった。命を落とした６４３３人のためにに兵庫などでは、追悼式典が行われた。

そんな中、まだ我々の記憶に新しいのが、十二月二十六日に起きたスマトラ島沖地震である。Ｍ９のこの巨大地震は、大津波を引き起こし、１５万人の尊い命を奪った。死者と行方不明者の数は３０万人を超えるであろう。また、行方不明者は死亡している可能性が高い。インドネシアからアフリカ大陸東岸まで、被災域は、東西７０００キロ、南北３８００キロに及ぶ。世界的な災害だったこともあり、少なくとも１４５万人が避難生活を強いられている。たいのプーケット島など世界的な観光地が津波の直撃を受けたことから、日本人を含む四十六カ国・地域もの外国人が多数巻き込まれた。また、最大の被災地インドネシア・アチェ州は日々１０００人単位で死者が増加している。このような状況から、１９７６年の中国・唐山地震（Ｍ７、死者２４万２８００人）をしのぐ災害になることが予想される。

ここで、この地震がもたらした影響について考えてみよう。

まず、両親、兄弟を失った子供たちが、人身売買、少年兵などの目的で誘拐されることである。例えば、一月二十六日ユニセフの現地報道官は、津波で被災した４０人の子供がスリランカの少数派タミル・イーラム解放のトラ（ＬＴＴＥ）によって、少年兵の徴用目的で誘拐された。その中に少女も多数おり、中には十三才の子供もいた。

次に、被災者の「心の傷」である。目の前で、家族、友人が流されたのだ。被災者によると、波は渦を巻いており、家具、自動車あらゆる物が流されていたという。また、その波によって、体の一部がもぎ取られてしまったようだ。愛知県の被災した少年は、父の遺体の損傷があまりにひどかったので、腕時計で判断したようだ。さらに、至る所に、死体が転がっていたそうだ。自分がもしこの光景を目撃したら、どうであろうか。その現実を受け入れることができるだろうか。一刻も早く被災者の心理的後遺症などに対する「心のケア」が必要であろう。

CARMEN HANDLE
AGE 24 (F) AUSTRALIAN
YEO TIEW
AGE 47 (F)
SARA OSHIMA
AGE 6 (F) JAPANESE
KAI OSHIMA
AGE 9 (M) JAPAN

被災地にて

被災国だけでは、どうすることもできない問題もあるだろう。そこで、国際連合や各国政府、民間団体の支援が必要である。

世界保健機構（ＷＨＯ）は当初、水や医療・衛生設備の不足から、５００万人が感染症の危険にさらされ、最悪１５万人が死亡する可能性を示唆していた。しかし、国連機関や各国政府などが、発生直後から清潔な水の確保など感染症防止策に素早く取り組んだため、懸念していた爆発的な被害の拡大は、「きわめて低くなった。」とＷＨＯのナバロ事務局長代理は述べた。

日本の陸上自衛隊もスマトラ島北部バンダアチェに派遣され、応急医療活動などを行い、被災者の治療と感染症の予防にあたっている。

また、数多くの世界的な有名人が被災国復興のため寄付をしている。Ｆ１のミハエル・シューマッハは一人で１０億円以上という驚くべき額を寄付した。また、その有名人の中には日本で人気のヨン様もいる。国家からの支援も必要だが、このような行為が復興への大きな手助けになるということはいうまでもない。

さらに、国際社会はこの巨大災害に素早く対応し、一月六日にジャカルタで緊急首脳会議を開いた。そこでは、国連を中心とする長期的な支援の枠組み、国家間の援助、被災国の公的債務の支払猶予方針などが決定された。また、一月十八～二十二日にかけて、神戸市で国連防災世界会議が開かれた。そこでは、「災害予防の文化が強化されなければならない」という意見のもと兵庫宣言が採択された。多くの国がそれぞれの津波警戒システムをめぐり、それぞれの貢献策や考え方を表明し、実際にどんな仕組みを作るかについては、今後国連主動で調整が進められる。また、「特定の国が運用するようなシステムにしてはいけない」などとする意見も出ている。

この津波を通して私たちは多くの事を学ぶことができた。この出来事によって、「災害のグローバル化」を国際社会が改めて認識する教訓になった。また、津波の恐ろしさを国際社会が改めて理解し、対策を練る機会となった。この出来事を未来に生かさなければならない。

（７）

We Love プリンセス♥

さて、ここでは世代を超えて人気のある、「ディズニープリンセス」について紹介しちゃいます！そもそも、「ディズニープリンセスとは？六人います。彼女達は、私たちがよぉ～く知っている童話に登場する主人公（ヒロイン）です。それらの童話が”ウォルト・ディズニー“の手によってアニメ化などがされ、世界的に人気のある作品・キャラクターになったのです。ここで登場してきた”ウォルト・ディズニー“についても、少し紹介しておきたいと思います。

”ウォルト・ディズニー“とは世界的有名な会社です。それを作ったのは、会社名と同じ名前の一人の男性です。彼は、一九〇一年十二月五日、イリノイ州シカゴでイライアス・ディズニーの四男として誕生しました。シカゴの高校でアニメーションに興味を持ち、戦争を経て広告会社の同僚であるアブ・アイワークスとアニメ映画会社を設立するが倒産してしまいます。しかし彼は、それをきっかけとしてアニメの世界に入っていったのです…。

それではいよいよプリンセスの紹介といきましょうっ☆とはいってもここで六人全員のプリンセスを紹介することは無理っぽいので私が勝手に選んだ二人のプリンセスについて紹介したいと思います。

まず一人目は…女の子なら一度は読んだことがある物語のヒロイン”シンデレラ“です！

彼女は、小さな動物たちと仲良しで、金色の髪に青い瞳がピッタリの、やさしく明るいプリンセスです。『シンデレラ』という物語に登場します。いつも義母や義姉たちにいじめられていたかわいそうなシンデレラは、お城の舞踏会の招待状が来ても行くことができませんでした。しかし魔法使いのおばあさんが現れ、夜中の十二時までと約束し舞踏会に行くことになります。そしてお城での楽しい時間を過ごし約束の時間となったので、急いで帰ろうとすると、ガラスの靴が脱げてしまい、置いてきてしまいます。それを拾った王子様は、その靴にぴったり合う足の女性を探しに村に行くのです。たくさんの家を訪ね、ついに王子様はシンデレラを探しあてます。こうして二人は結婚し、幸せに暮らしました…。というようなお話です。

続いて二人目のプリンセスは…彼女もまた誰もが一度は必ず読んだことのある世界的有名な物語のヒロイン”白雪姫“です！

彼女は、無邪気で人なつっこく、誰からも愛されるやさしい心の持ち主。いつか素敵な王子様が現れることを夢見ているかわいらしいお姫様。『白雪姫』という物語に登場します。母親を早くに亡くした白雪姫のもとに、新しい母親がやってきます。義母は実は魔女で、毎朝鏡に向かって、「世界中で一番美しいのは誰？」と聞くのが習慣になっていました。ある日義母が鏡に向かって同じ質問をしたところ鏡が「白雪姫が一番美しい」と答えたのに腹を立て、家来に白雪姫を殺すように命じますが、家来はそれに従わずに姫を森に置き去りにしてくるだけにしてしまいます。森に置き去りにされた姫は、七人のこびとたちと一緒に暮らすようになります。まだ姫が生きていることを知った義母は、毒リンゴを持って老婆に化けて森に出かけます。そして姫はその毒リンゴを食べて息が詰まって倒れてしまいます。そんな姫を見つけた七人のこびとたちは、とても悲しみ、姫を棺に入れて見守りました。そこへ白馬に乗った王子様が通りかかり、白雪姫のあまりの美しさに見惚れ思わず口づけをしてしまいます。すると姫ののどに詰まった毒リンゴが飛び出し、姫は生き返りました。こうして白雪姫と王子様は結ばれ、幸せになりましたとさ…。というようなお話です。

他の四人のプリンセスもすてきな物語のヒロインで、ここで紹介できないのは残念ですけど、機会があったら紹介していきたいと思います！それまで期待して待っててくださいね♪♪では。

☆ツッキー☆

編集後記

今回は冬休みもはさんで時間にとても余裕があったので良かったです。☆ツッキー☆

いつもより時間があったので、楽に書くことができました。（ペコ☆）

初めての論説は、難しかったけど、書きがいがありました。（まっちゃ）

今回は時間があったけど、やっぱり最後にあせってしまった。（せつこ）

書きやすい内容だったけれど、〆切に間に合わなかった。（キキ）

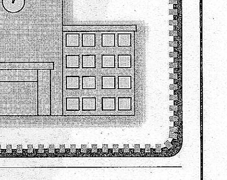
いろいろ何を書いていいのか分からなくて大変だった。（ララ）

今回は一人の書く量が多かったので、時間もかかって大変だった。（７）

今回は短期間で仕上げたので、大変だったけど終わってよかった。（にゃろめ）

もうちょっと早くできたらよかったなぁと思った。（うにょ）

南高校の設備改善について



三月に卒業する三年生に、三年間の思い出のつまった南高高生活について改善した方がよいと思うことを書いてもらいました。一つ紹介したいと思います。

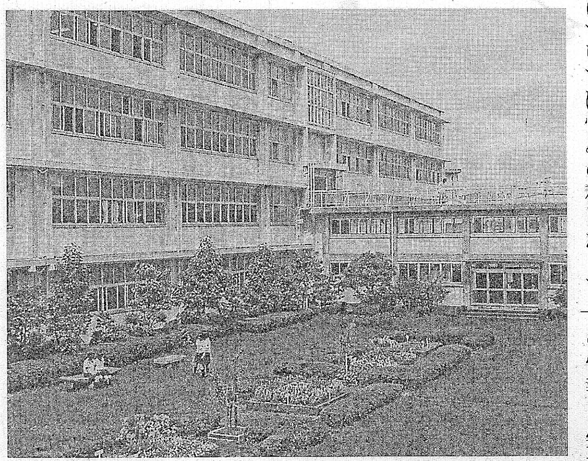
『学校設備の改善に関する提言』

私はもちろん、浜松南高校についての資料やパンフレットを見て、南高への入学を希望したのだが、いざ学校が始まってみるとパンフレットには載っていないような細かな部分で、生活のしにくさを感じた。今後の南高の発展と後輩たちのためにも、今この場で三つほど提案したいと思う。

一つ目にパソコン室の開放である。授業や文化祭で二、三度入った記憶があるが、それ以外で使用したことはない。パソコンは調べ物があるときや、レポートを書く上で大変重宝する。スムーズな勉強をするためにもパソコンの使用は必要であると思う。今後、大学進学や就職をするとなればなおさらである。将来のためにも練習は不可欠であるが、どの家庭にも機材が置かれているわけではないし、自由に使えるかもわからない。そこで、やはり学校のパソコン室の開放は行ってほしいと思う。機械の破損や盗難が心配なら委員会を設置して見回りをしたらそのような心配ごともなくなると思う。さらに、入室時に氏名を記入するノートなどを用いれば、各自がパソコンの使用に責任をもつようになると思う。

二つ目に、これも設備についてのことだが、カサ置き場を整備してほしいということだ。今でも昇降口にはカサ置き場はあるけれど、広さも足りていないし、一人一人決まった置き場がない上に、みんな似たようなカサを使っているために盗難が多く発生してしまっている。盗難は名前や、目印になるようなものをつけることで簡単に防げるとも思うが、どうせなら広さの問題も解決するために、各教室で保管をしたらどうだろうか。例えば、教室に大きなポリバケツを用意して、朝登校したらそこにカサを入れ、各自が帰る時に持っていく。従来のカサの保管場所を変えただけのように思われるが、私の出身中学ではこれを実行して盗難が大幅に減った。少し話がズレてしまう気がするが、この制度は私にとって他にも利点があった。私はよく学校にカサを置き忘れていたのだが、その制度のおかげで、カサを置き忘れるということが少なくなった。たとえ置き忘れたとしても、どこに置いたかがはっきりとしているので、カサを無くすということもなくなった。これは昇降口を広くするという意味でも、ぜひ採用してほしい制度だ。

三つ目の提言は、運動部の部室の使用法法についてだ。私は運動部に所属していて、その部活は男女一緒に活動する部活だったのだが、与えられた部室は一つだけであった。もちろん、男子と女子が一緒に一つの部室を使用することには抵抗があるので、部室の他にも倉庫などを利用していたのだが、やはり部室を使えない人からは多くの愚痴を聞いた。部室があるのに利用していない部活があることや、部室の広さに違いがあることなども考えると、教室は年度ごとに適切な大きさ、数を振り分けるのが良いのではないかと思う。環境面がしっかりしていれば、練習にもより集中することが出来るようになり、結果や成績にも良い方向に変化が出ていくようになると思う。



今ここに示した私からの三つの提言はどれも学校の設備についてであって、改善にはとてもお金がかかる。南高校は公立高校であるので資金面については悩みの種になってしまうだろう。しかし、南高校での生活を良くするためには、今後それらは必要になると思う。だから、何年かかっても改善をしていくべきである。幸いにも南高校は生徒会がとても活発に活動している。現在もとても生活しやすい学校であると思うが、生徒総会などで議論を重ね、生徒の意見、考えを取り入れてもらえたならば、先生、生徒共に生活しやすく、勉強・スポーツ・文化など他方面において南高校の名を広く知れ渡らせることができると思う。自分の出身校は浜松南高校だと自信を持って言えるように、私が卒業した後でも、立ち止まることなく、進化しつづけている学校にしてもらいたいと思う。私の提言が生かしてもらえれば私にとって幸である。

私は二年間南高で過ごしているのだが、この文を読んでいくつか共感できることがあった。

まず一つ目に書いてあったパソコン室の開放のことだ。私が中学生だった頃、パソコン室が開放されていてすごく便利だったということを覚えている。総合学習など調べることが多い授業ではたくさんの情報を必要とする場合がある。そんな時インターネットによる情報は大変役に立つものだ。私は南高で、まだ一度もパソコンを使ったことがない。今、進路決定に悩んでいる中で、パソコンによる情報は私にとってすごくありがたいものになると思う。

二つ目に書いてあったカサ置き場の件も納得できると思った。学校を入ってすぐ目につく昇降口にカサが散らばっていることは、あまり良い印象を受けない。常に目に触れるところだけでもきれいな状態であってほしいと思う。それに盗難がよくあるのはなんとか改善しなければならないことだ。やはり、教室にカサを持ってきて保管する方が盗難は減るだろう。カサが他の人の物だという意識が少ないからこんなことが起こるのだと思う。個人用のカサ置き場があればすごく便利になるだろう。

私も、南高の設備についてよくないと思うところがいくつかある。

まず一つ目に、一年から三年までのクラスの教室に鍵がかからないことだ。これは教室を移動する際など非常に厄介なことである。例えば、体育館で学年集会があった時、生徒たちは貴重品を身に付けるようにと言われる。金品の盗難が起こってしまうからである。盗難が起こると真っ先に疑われるのは、私たち生徒である。疑われることを快く思う人はいないだろう。先生たちも自分の生徒を疑いたくないと思う。確かに貴重品を身に付けていなかったのはよくないが、すべて盗難に遭った人の責任だとは言えない。そこで、教室に鍵をかけることができたなら、もし教室に貴重品を忘れたとしても、鍵がかかっているので少しは安心である。鍵やドアを壊すような危険を犯してまで、学校で盗みをするような人はなかなかいないだろう。学校は安心だ、という観念がくずれかけている今だからこそ、教室にカギをかけることができるということは、重要視されなければならないことだと思う。

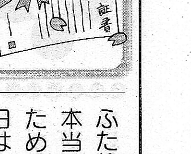
二つ目に耐震についての設備が少ないと思う。廊下に面した窓や、部室などは最近耐震工事が行われたが、教室は行われていない。新潟中越地震やスマトラ沖地震などいろいろなところで地震が起こっている。そんな中、起こると予想されている東海地震では、たくさんの被害が起こるだろう。学校は避難所にもなる。そのためにもいろいろな所を耐震補強する必要があると思う。

今まで述べたことは、確かに莫大な費用が必要だと思われる。南高は公立高校でこのようなことは無理なのかもしれないが改善していかなければならない問題だと思う。

三年間を共に生活する学校の校舎。よりよい生活を送るために、私たちにできることもあるだろう。生徒たちみんなで協力しよりよい南高にしていきたい。

（ポコ）

「卒業」といえばこの曲!!



もうすぐ3年生が卒業。卒業といえば『これ!!』という曲がたくさんあります。その中でも有名な曲の歌詞を紹介したいと思います!!

まずはじめに森山直太朗の**『さくら（独唱）』**から～。

僕らはきっと俟っている。君とまた会える日々を。さくら並木の道の上で手を振り叫ぶよ。どんなに苦しい時も君は笑っているから。くじけそうになりかけても頑張れる気がしたよ。かすみゆく景色の中にあの日の唄が聴こえる。さくらさくら今、咲き誇る、刹那に散りゆくさだめと知ってさらば、友よ今、旅立ちの時、変わらないその思いを今。

今なら言えるだろうか。偽りのない言葉。輝ける君の未来を願う本当の言葉。移りゆく街はまるで僕らをせかすように。さくらさくらただ舞い落ちる、いつか生まれ変わる瞬間を信じ。泣くな友よ今、惜別の時、終わらないあの笑顔でさあ。

この曲はとってもＨＩＴしましたね。カラオケでも歌われる曲です。

次は**『卒業写真』**

悲しいことがあると開く皮の表紙。卒業写真のあの人はやさしい目をしてる。町でみかけたとき何も言えなかった。卒業写真の面影がそのままだったから。人ごみに流されて変わってゆく私をあなたはときどき遠くでしかって。

話しかけるようにゆれる柳の下であった道さえ今はもう電車からみるだけ。あの頃の生き方をあなたは忘れないで。あなたは私の青春そのもの。

人ごみに流されて変わってゆく私をあなたはときどき、遠くでしかって。あなたは私の青春そのもの。

この曲ははとても有名な曲ですね。切ない感じが心に染みますね。

次にＳＰＥＥＤの**『my graduation』**

あなたと出逢えてよかった。心のアルバムめくればきらめく想い出たちよ。続いてく時はいつも止まらずに、変わってく街も人も愛もみんな。ずっと忘れない離れてもくじけない。生きていく今日から。やさしさと勇気をくれたよね。愛が芽生えたjuly、最後のkiss、ふたりの合図仲なおりした夜、本当に愛してた。いつか、まためぐり逢う。終わらない今日は私のmy graduation。

振り返ればつらい時はいつも、そばにいてはげましてくれたね。言葉にできない想いも涙もあなたはわかってくれたよね。できるならあの頃へ戻りたい、ずっと素直じゃなくてごめんね。遠いX'masイブ、永遠を誓ったkissあの日くれたチョーカー、今も胸に光っています。笑いころげたvoice、瞳のTruthコロンのにおい、待ち合わせした店、あざやかにこみあげる。人はいつか旅立つ幼かった昨日の私にさようなら……。

ＳＰＥＥＤの代表的な歌でもある『my graduation』とってもいい曲ですね。

最後にサザンオールスターズの**『ya ya』**

胸に残る愛しい人よ。飲み明かしてきたなつかしいとき。秋が恋をせつなくすれば、ひとり身のキャンパス、涙のチャペル。もうあの頃のことは夢の中へ。知らぬ間に遠く、rears go by suger suger Ya Ya petit Chaux美しすぎるほど。Pleasure Pleasure La La Voulezvous 忘れられぬ日々よ。

サザンの中でも有名なこの1曲。昔のことをなつかしく思い出している曲ですね。

紹介してきたこの4曲。どれも別れや昔のことを思い出し、なつかしくうたっている曲ですね。別れはつらいものです。そういった歌を聴いて思い出にひたってみるのも、いいのではないでしょうか。

〈ララ〉

個性豊かな部活紹介

みなさん何部に所属していますか？南高では全員部活に所属することになっているので、全校のみなさんが部活動に参加していることと思います。今回新聞部では、知っているようで意外に知られていない南高での部活動について取り上げてみたいと思います。

まず南高にはいくつの部活があるか知っていますか？その数三十五です。今回はこの中から三つの部活を取り上げ紹介していきたいと思います。

まず一つ目の部活は**「男子バスケットボール部」**です。平日の練習時間は約3時間半。放課後に第一、または第二体育館で練習に励んでいます。練習時間をみても分かる通り、とてもハードで、練習に力を入れている部活です。

部員の数は、二年十一人、一年十人、マネージャー二人の二十三人です。この二十三人と、顧問の川村先生、コーチの小栗さんの二十五人で日々練習に取り組んでいます。顧問の川村先生は教員生活三十数年のベテランです。先生はどのような人かマネージャーの二人に聞いてみました。

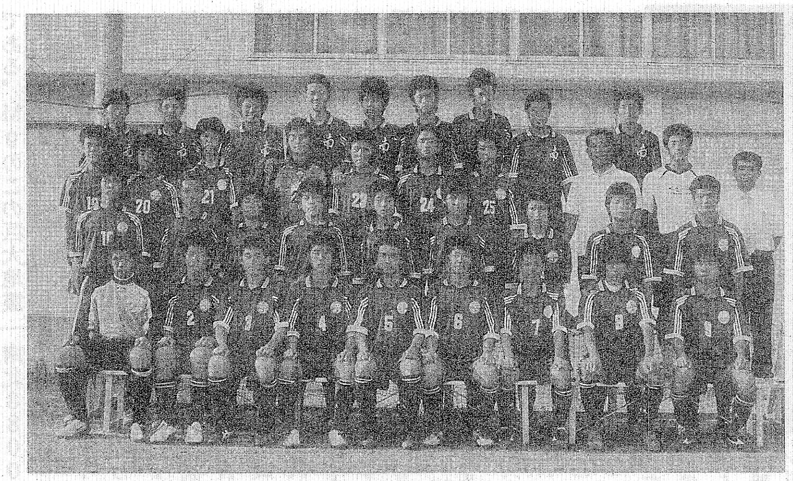
・おもしろくて優しい人。

・愛嬌があり、マッサージが上手!!

と、いうことでした。

また、部長さんについても聞いてみました。部長さんは、23HR、鈴木源太郎君、頼れる、部員をまとめるリーダーシップを持つ者、だそうです。温厚かつ統率力のある鈴木君によりバスケ部は活動できているんだと思いました。

そんなバスケ部の次の大会は一月三十日にあります。どのような結果になりそうか聞いてみた所「結果よりも自分たちの普段の力が出せるよう頑張りたいです！」という言葉をもらいました。普段の練習に一生懸命取り組んでいるからこそ言える言葉だなぁと感心してしまいました。そんなバスケ部ですが、練習中には、声をかけあい常に集中することに気をつけているそうです。チームワークが何より必要となるそうです。



サッカー部の皆さん♪

部員についての質問もしてみました。みんな背が高いイメージのバスケ部なので、一番背が高い人は誰なのでしょう??聞いてみましょう…一番背が高いのは21HR21番、舞阪中出身、高橋健太君。180cmということでした。本当におおきいですね☺

では、最後に新入生への勧誘メッセージを聞いてみました…

「とりあえず練習見に来てください！バスケの面白さが分かると思います！」

新入生の皆さん、少しでも興味を持ったら見に行ってみましょう☆バスケ部の皆さん、ありがとうございました。

二つ目の部活は、**「サッカー部」**です。南高のサッカー部は、新人戦二位というすばらしい結果を残しています。

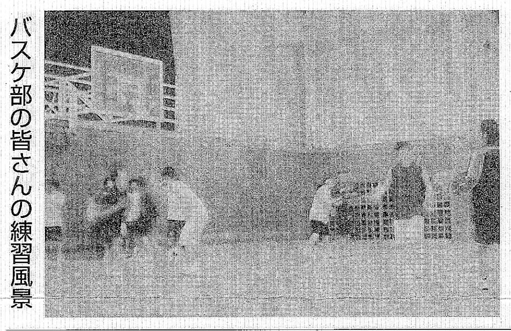
部員の数は、三年二十四人と、マネージャー二人、二年三十人とマネージャー二人、一年二十三人とマネージャー三人の八十三人です。太箸先生や鷲巣先生・鳥井先生のご指導のもと日々頑張っています。

日々の練習では、パス・シュート、動きなど全てにおいて主に基本を繰り返し練習していてその基本を試合に生かせるような応用練習も行っているそうです。また最近では"速さと強さ"に重点をおいた練習も行っています。このような練習をスムーズに進めているサッカー部祐希君、みんなが苦しいときに引っ張ってくれる頼れるキャプテン、だそうです。そんなキャプテンがいるからこそサッカー部は明るく楽しい活動を行っているのだと思いました。

サッカー部の次の大会は高校総体（インターハイ）です。この大会で引退する人が多く、今のチームの第一の目標である県制覇を達成し、最終的には全国の頂点に立ちたい!!という気合のある言葉を聞くことができました。

サッカー部から新入生へのメッセージ…「浜松南高校サッカー部で県、全国優勝をしてやる!!という気持ちのある人、大歓迎です!」ぜひ見学に行ってみましょう☆サッカー部の皆さん、ありがとうございました。

三つ目の部活は**「吹奏楽部」**です。皆さんもう知っている通り、吹奏楽部はとても活動が盛んでよい成績をいくつも修めている部活です。部員は二年男子十八人、女子十九人一年男子十四人、女子二十人の計六十三人です。顧問の戸田先生のご指導の元毎日練習に取り組んでいます。



バスケ部の皆さんの練習風景

そんな吹奏楽部をまとめている部長さんは21HRの奥澤俊一くんです。奥澤君は部員のみなさんから見ると、「ハンサムな人、おもしろい人、変な人」だそうです。いつもおもしろく、楽しく活動している吹奏楽部は、こんなおもしろい部長さんにまとめられているんですね☺吹奏楽部は部員がとても多いので、まとめていくのは相当大変そうだなぁと思いました。

日々の練習でしていることは、ずっと音を出し続けるロングトーンや、違う高さの音を重ねて美しいハーモニーをつくることです。大人数で演奏する時には一人一人の力が必要となってきてそれを育てるのが日々の練習なんだそうです!!また、他にはいろいろな曲を練習したり、コントをしたり（!?）しているそうです。

そんな吹奏楽部ですが、四月の二十四日にははまホールで演奏会が行われます。部員の皆さんに意気込みを聞いてみました。「この演奏会はわが部の集大成のようなものです。南高吹奏楽部のファンを増やしてしまうよう熱く演奏しようと思っています!!」だそうです。素晴しいものになりそうですね。興味のある人はぜひ見に行ってみてください☆また、新入生の人も見に行ってみてはどうでしょう。感動すると思います☺

新入生の皆さん、吹奏楽部は活動日も多く練習もきつそうな部活ですが、部員も多く、とても仲が良く毎日楽しく活動している部活です。入ってみようか迷っている人はぜひ入ってみるといいと思います

♪

では、最後に部員の皆さんから新入生へメッセージをいただきました。

新入生へ…

「この吹奏楽部を他の部活と一緒のように思ってはなりません。楽器を吹くのが主ですが運動もするし、とてもおもしろい部活でもあり、先生もおもしろいです。高校生活楽しみたいならぜひ吹奏楽へ!!」だそうです。

吹奏楽部の皆さん☆

今回三つの部活を取材してみて部活動をする意味を再確認できた気がします。今まで部活は、やらされている感がありましたが、今回取材に行った三つの部活は部員それぞれ目的を持って集まり、部活動の時間を最大限に生かして活動している気がしました。

また、集団で活動することによりお互い力を伸ばし合えると思います。そして、その集団行動の中で協力することや助け合うことの大切さも分かってくるような気がします。だからこそ、日々の厳しい練習ですら楽しんでできているんだと思います。

今回は活動日の多い部活を取材しましたが、活動日の少ない部活でもそれぞれの時間を有効に使い楽しんでいるように思います。

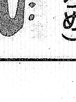
活動が少ないとしても、高校生活の中で続けていくこと、相当な時間になるし、力になると思いました。

活動時間が多くても少なくても、部活動は高校生活に必要不可欠で、のちのち思い出に残るものだと思います。

新入生の皆さんは、新たな高校生活の中で部活動にどのように取り組んでいけばいいのかなど色々と不安があると思います。勉強との両立もできるかどうか気になると思います。そんな人はぜひ部活見学に行ってみてください。

在校生の皆さんも自分の部活動を見つめ直し、今までの活動を今まで以上によくしていってください。

取材に協力してくださった、バスケ部、サッカー部、吹奏楽部の皆さん有難うございました。



（うにょ&にゃろめ）

論説

学習における順位づけについて

現在、学校では学習において順位づけされている。このことについて私たちは疑問に感じたことがあるだろうか。果たして学習における順位づけは良いのだろうか。悪いのだろうか。私は、この機に、改めて考えてみた。

結論からいうと私は、学習における順位づけには反対だ。

確かに、順位づけされると、自分がどの位置にいるのかが分かり安心するだろう。更に順位を上げようと学習意欲がわくかもしれない。それらの点では、順位づけすることは、賛成だ。

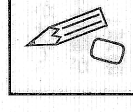
しかし、順位づけすることで、順位が全てのように思われてしまう。

例えば、努力をした子が、今回の試験では、その努力が報われず、順位が良くなかったとしよう。すると周りは、その努力を認めてはくれないのだ。つまり「良い結果＝（イコール）努力をした」という公式が出来上がってしまうのだ。だが、順位が努力を表しているわけではない。必ずしも努力したことが順位につながるわけではないのだ。しかし、どうしたって表に表れている順位という結果にばかり注目してしまう。裏に、隠れている努力を知らずに。そうなってしまう大抵の生徒は、次から努力をすることを怠ってしまう。努力を認められなかった生徒も順位が全てという考えに陥ってしまう。良い順位を得た者は次も良い順位を取り続けるかもしれないが、思うように良い順位を得られなかった者は次も思うようにとれないかもしれない。

こういったことから、順位づけをすることには反対なのだが、順位づけをしないことが絶対に正しいとも言いきれない。

ただ学生である私としては、順位づけされることは、周りと自分を比較してしまい、順位が上だから・・・下だから・・・ということにとらわれてしまい、順位を上げるための勉強をしてしまう。

以上の理由により私は、学習における順位づけに反対である。



（まっちゃ）